

次期基本計画検討に当たってのキーワード(第1回審議会での御意見を受けて)

網掛け : 第1回の御意見を踏まえて追加したキーワード

下線 : 第1回で同趣旨の御意見を頂いたキーワード

文化の多様な価値創出

- ・文化を基軸とした取組

文化芸術基本法の施行, 文化庁の全面的移転, 長期的視点に立った文化政策, 有形無形の京都文化遺産の継承, 保存と活用の好循環の創出, 平和・共生社会の実現, 経済の活性化, 観光との連動, 文化によるイノベーション創出, 食文化・生活文化の継承, 子どもへの継承, 担い手の育成と創造環境の整備, 国内外の文化交流の促進

- ・新景観政策のさらなる進化

京都の景観の守るべき骨格の堅持・充実, 規制法を含む創造法への景観政策の進化, 豊かな自然景観の保全, 京町家等の都市景観の保全, 地域特性を踏まえたきめ細かな対応

脱炭素・循環型社会の構築と生物多様性の保全

- ・二酸化炭素排出量正味ゼロに向けた社会の実現

パリ協定, 1.5°Cを目指す京都アピール, 都市文化・価値観の転換, 省エネ・再生可能エネルギー拡大, 広域連携, 社会課題を解決するイノベーション創出, 気候変動による自然災害の緩発

- ・ごみを出さない循環型社会の構築

ごみの出ない生産体制・ライフスタイル・地域社会の構築, 動脈産業と静脈産業の循環, プラスチックごみ対策 (G20 大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの具体化), さらなるごみ対策

- ・生物多様性の保全

京都の文化を支える自然環境の保全, 人と自然との関係の再構築, 森林の再生, 在来種の絶滅危機対策

市民生活と観光の調和

- ・市民生活との調和

観光客の分散化, 観光マナー向上, 観光効果の市域全体への還元, 市民・観光客の安心安全, 質のさらなる向上, 民泊 (違法対策→上質化)

- ・京都の価値の再認識・世界への発信

世界的な観光客の増加, 観光立国, ホスピタリティ・おもてなし, 多文化共生, 文化的相互理解の推進, 大阪・関西万博・MICE, 修学旅行生へのPR

- ・観光産業の高付加価値化

観光の担い手の職としての魅力向上, 観光産業の生産性向上, 多言語対応, キャッシュレス化

<横断的な視点>

- ①未来に種をまく視点

②多様性 (性別・世代・属性・京都の外からなど) の視点

③優先順位・トレードオフではない WIN-WIN を探す視点



子育て・教育環境日本一

- ・子どもを楽しく生み育てられる環境づくり

少子化対策, 共働きの増加, 女性の活躍, 貧困対策, 保育の担い手確保, 地域ぐるみの子育て支援

- ・学び合い・育ち合う環境づくり

社会との関わりを意識した教育, 京都ならではの育ち, 様々な挑戦を可能とする社会構築, 自己肯定感・自立心の育み, 学生にやさしいまちづくり, 大学・学生の国際化, 学生・留学生への京都文化の浸透, リカレント教育, いつでも学び直せる環境づくり

- ・困難を有する子ども・若者への支援

医療的ケア児・障害児への対応, 児童虐待・いじめ・不登校対策, 第3の居場所づくり, 生きづらさを感じている若者への支援, 長期化・高齢化するひきこもりへの対応, 切れ目ない支援, 参加しやすい地域・コミュニティづくり

社会・経済価値の創造

- ・知恵の承継・担い手確保

雇用・産業用地の創出, 企業誘致, 南部地域の創造, 地域企業の活性化, 産業人材の育成環境の整備・集積, 事業承継, 学生に選ばれるまちづくり, 入管法改正・外国人労働者, 伝統産業の継承・イノベーション, 労使連携, 働き方改革, 生産性の向上, ディーセントワーク

- ・新たな価値を創造する次世代産業の創出

地域特性や企業独自の強みを生かした知恵の活用, グローバル視点, ローカル視点, 人間らしい豊かさ (ローカル価値, アナログ価値), デザイン思考, クリエイティブ産業のクラスター化, スタートアップを生み出すエコシステムの構築, ESG 投資の呼込み, グローバル新市場の開拓・創造, オープンイノベーション・交流

- ・Society5.0を見据えた取組

IoTによる新たな価値, イノベーションによる様々なニーズへの対応, AIによる情報の提供, ロボットや自動走行等の技術による人の可能性の広がり

都市インフラの強靭化・質の向上

- ・危機管理・防災・減災

南海トラフ地震への備え, 災害の激甚化・スーパー台風への対応, リダンダンシーの確保, 都市基盤の長寿命化・機能向上, 防災と景観を両立するインフラ整備

- ・社会活動を支える基盤整備

都市基盤の戦略的マネジメント, 投資を誘発する都市づくり, ウェルネスインフラ・グリーンインフラの構築, 広域ネットワークの形成, ユニバーサルデザイン, 空き家の有効活用

公共交通を基軸とした持続可能な都市構築

- ・住む場所・働く場所の確保

保全・再生・創造のまちづくり, 都市のスポンジ化への対応, コンパクト+ネットワーク, 若年層の定着, 職住・育住近接

- ・歩いて楽しいまちづくり

公共交通利用割合のさらなる向上, 公共交通の利便性向上・担い手確保, ライドシェア, モビリティマネジメント, 新技術・新概念 (MaaS) の活用, 歩いて楽しい空間づくり

- ・地域の個性を生かした景観づくり・まちづくり

地域力のさらなる向上, まちづくりの担い手創出, エリアマネジメント, 京都市立芸術大学の移転